

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域ゆかりの

いじん けんじん とくしゅう

偉人・賢人特集



かつやく とし
活躍した年:

?-1623年



かつやく ぶんや
活躍した分野:

こうざんし
鉱山師



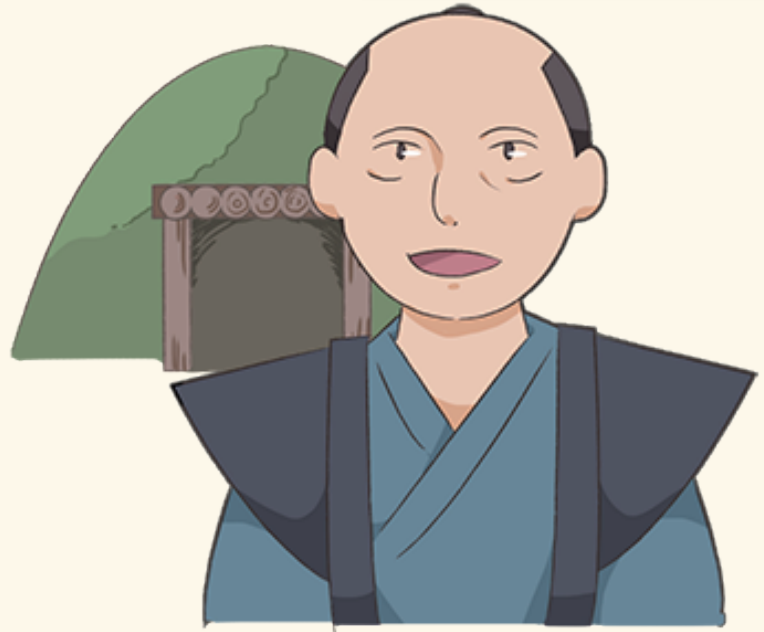
ゆかりのある場所:

やすはらびつちゅうのかみくようとう
・安原備中守供養塔



やすはら びつちゅうのかみ
安原 備中守

新高総 早 倉矢井浅里笠
見梁社 島 敷掛原口庄岡
市市市 町市市市市市



やすはらびつちゅうのかみ いま はやしまちょうはやし ま う
安原備中守は、今の早島町早島に生まれました。

てんしょう いわみぎんざん けいえい あたら ぎん こうみやく ほ あ かまやまぶ はつ
天正ごろに石見銀山の経営をしていましたが、新しい銀の鉱脈を掘り当て、釜屋間歩を発
けん いちやくいわみぎんざんはんえい じだい きず こうせき とくがわいえやす び
見し、一躍石見銀山繁栄の時代を築いたといわれています。その功績により徳川家康から「備
ちゅうのかみ しょうごう ちい だいだいつか な いえやす ちゃくよう はおり おうぎ あた
中守」の称号（地位と代々使える名）とともに、家康の着用していた羽織と扇などを与えら
れました。

ばくだい かね つか しゅっしんち はやし ま つるさきじんじゃ さいこう せっきよくてき きふ こう
この莫大なお金を使って、出身地である早島の鶴崎神社の再興のため積極的に寄付をし貢
けん かんが
献していたと考えられます。

びつちゅういちのみや きびつじんじゃ しんこう あつ けいちょう ねん ごへい
また、備中一宮である吉備津神社へも信仰を厚くしていて、慶長8（1603）年の御幣
ぐししゅめい まつり どうぐ はやしましおづむらやすはらたひょうえくさかべあそみとたね しる
串朱銘（祭の道具）には、「早島塩津村住人安原田兵衛草壁朝臣知種」と記されています。さ
らに、慶長17（1612）年に御釜殿を立て直した際にも力を尽くしました。

とお はな こきょう あつ おも あつ しんこうしん しょうがい たいはん いわみぎんざん けいえい
遠く離れた故郷への熱い思いと厚い信仰心をもちながら、生涯の大半を石見銀山の経営に
つい びつちゅうのかみ とく つた かんえい ねん た くようとう
費やした備中守の徳を伝えるために寛永12（1635）年に立てられたされた供養塔が、
はやしまちょうしおづ げんざい のこ
早島町塩津には現在も残っています。